

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県立中央青年の家
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）日本スポーツ振興協会
指定期間	R3. 4. 1～R6. 3. 31（3年間）

1 施設の概要

施設所在地	土浦市永井 987
施設の概要	敷地面積 77,387.265 m <sup>2</sup> 本館（RC3階）2,447.87 m <sup>2</sup> 、研修館 448.00 m <sup>2</sup> 、研修分館 111.80 m <sup>2</sup> 体育館 986.23 m <sup>2</sup> その他の主な施設等 野外炊飯場 オリエンテーリングコース ウォークラリーコース 野外キャンプ場 宿泊定員 200名（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 100名に制限）
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身共に健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育・研修事業の実施 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・その他上記に付帯する業務

2 職員の状況

常勤職員：13人	非常勤職員：11人	合計：24人
----------	-----------	--------

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	129,891,000	人件費（給与等）	93,414,369
利用料収入	2,081,340	事業費	13,104,547
指定事業等収入	390,960	管理費	25,904,644
その他（食堂等）	12,143,978	租税公課等	9,470,000
収入合計	144,507,278	支出合計	141,893,560

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	295日	252日	250日
②年間利用者数(人)	19,916人	11,652人	4,990人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	2,081,340円	1,030,260円	286,190円

## 5 サービス向上に向けた取組み

- ・今年度、キャッシュレス決済サービス「J P Q R」を導入した。
- ・館内BGMのサービスを提供し、音楽による心地良い生活環境を提供している。
- ・「ドローンプログラミング教室」などニーズの高い新しい事業を提供している。
- ・「IBARAKI FREE Wi-Fi」を設置し、Wi-Fi環境の整備による研修活動の充実を図っている。
- ・公式SNSを立ち上げ、効果的な情報配信に努めている。
- ・「食育」にも力を入れ、ホームページで食育に関わるコラムを配信している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための人数制限や使用箇所の消毒、検温など、利用団体の理解と協力も得ながら、安心安全な管理に努めている。

## 6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

### ○実施方法

- ・退所時に協力を依頼する方法アンケート調査を実施。(166件の回答)

### ○調査結果

#### ①開館日・開館時間

大いに満足 55.8%、満足 31.9%、ふつう 8.0%、不満 4.3%、大いに不満 0.0%

#### ②職員・スタッフの応対

大いに満足 67.5%、満足 26.5%、ふつう 5.4%、不満 0.6%、大いに不満 0.0%

#### ③施設の清潔さ

大いに満足 52.2%、満足 31.5%、ふつう 15.7%、不満 0.6%、大いに不満 0.0%

#### ④プログラムの内容

大いに満足 58.6%、満足 33.8%、ふつう 7.6%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

#### ⑤施設全体

大いに満足 62.2%、満足 34.8%、ふつう 3.0%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

### ○利用者からの意見等

#### 【良い点】

- ・コロナウイルス対策の中、宿泊学習ができたことは貴重な経験となりました。
- ・体調不良の児童の夜遅い対応、細やかなアドバイス等、大変助かりました。
- ・今年で2年目になります。子ども達の成長が感じられる機会になっています。
- ・職員の方みなさんの気持ち良い対応ありがとうございます。丁寧な対応に感謝申し上げます。

#### 【悪い点】

- ・食事の時間が30分だと少し慌ただしく感じましたが、こういう状況なので仕方ないような気もしました。
- ・体育館のトイレが使えなかったのが残念でした。
- ・敷布団が薄すぎて固くて眠れなかった。細かな汚れがあった。

#### 【要望】

- ・浴室のトイレと流しをなおしていただければ満足です。
- ・トイレの個室が大きいサイズがあると助かります。
- ・屋外トイレの改修をお願いできればと思いました。

### ○対応状況

- ・食堂利用は、コロナ禍の感染拡大防止対策の一つとして、一度の利用は50人程度、30分を数回転する方法で運用。今後、状況に合わせて、緩和予定。
- ・浴室のトイレと流しは、修繕工事を実施し改善。
- ・体育館のトイレは、配管洗浄・浄化槽汚水ポンプ交換等の修繕工事を実施し改善。
- ・敷布団は、年1回クリーニングを行っているが、消耗が激しい物は、交換で対応。

## 7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検専門業者に業務を委託し、適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	施設の良い衛生環境、美観維持への取組み、利用者へ快適な空間の提供に努めている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に基づき適切に修繕し、施設を安全かつ安心して利用いただけるよう、利用者への良質な環境の提供、安全管理に努めている。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	関係条例等を遵守し、適正な運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	予約・利用許可等については、定期・随時利用申込みの各手順において、平等・公正に行った。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	「ドローンプログラミング教室」や、元劇団四季団員による「ミュージカルワークショップ」など、魅力的な事業を実施した。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	利用者アンケートを業務改善に役立て、施設設備の改善を積極的に行った。また、全ての事業でアンケートを実施し、利用者の要望等を把握し、分析・評価・考察を行っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	教諭免許保有者(元中学校校長、高等学校校長他)、1級建築士、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員、危険物取扱(乙4)、ボイラー取扱者、マイクロバス運転免許等、有資格者の適切な人員配置をした。	A	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望や苦情等への初期対応に注力し、迅速かつ適切に対応するとともに、二次クレームに発展しないよう心がけている。また、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを整備するとともに、消防訓練の実施及び職員研修、職員による日常点検の徹底、避難誘導體制の整備を行い緊急時の対応に万全を期している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じ、県南教育事務所や県南生涯学習センターなど関係機関との連携・調整をした。また、JAXAやジオパーク推進協議会、地元JAXAなどと連携し、事業を展開した。	B	B

利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	利用者数は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による利用制限や、宿泊利用の自粛、開催事業等の縮小などにより、大きな影響を受けることとなった。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	稼働率は 80.6%で、コロナ禍の影響により稼働率が減少した。	C	A
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	新型コロナウイルス感染拡大により、施設利用料金および事業収入に大きな影響を受けたが、執行計画に基づき、適正に執行している。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費は、適切に支出し、経費削減に努めた。部品交換など自前で対応できる修繕は、専門職員が行い、経費を縮減しながら適切に修繕を行っている。	B	B
<p><b>【総合評価】</b>・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価  管内外の清掃及び消毒、食堂の座席配置を工夫するなど利用者の安全・安心を第一に考えて運営している。また、利用団体との打合せを入念に行い、感染防止対策に努めている。  「ドローンプログラミング教室」、「各種プログラムの英語活動対応化」、「キャッシュレス決済サービス導入」など、利用者のニーズを考慮した魅力的な教育事業や円滑な利用対応を推進した。  利用者へのアンケート調査では、利用者を意識した誠実な取り組みと柔軟な対応が評価され、「職員・スタッフ対応」、「施設全体」で高評価を得ている。  以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。</p>				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。  
・総合評価欄については、所管課が記入する。  
・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの